

3. 流域の社会

3-1 土地利用

米代川流域内の土地利用面積は、森林地域が80%、農業地域が27%、都市地域が11%である。また、米代川流域の耕地面積は、昭和60年まで増加傾向にあったがそれ以降減少し、平成7年では昭和43年より下回っている。

表3-1 米代川流域内の土地利用面積（平成7年）

		都市地域	農業地域	森林地域	自然公園地域	自然保全地域
米代川流域	面積km ²	437.2	1,115.8	3,288.4	287.8	45.1
面積4,100km ²	割合%	10.7	27.2	80.2	7.0	1.1

※土地利用地域は他地域と重複する地域もある。

資料：建設省東北地方建設局「河川現況調査」

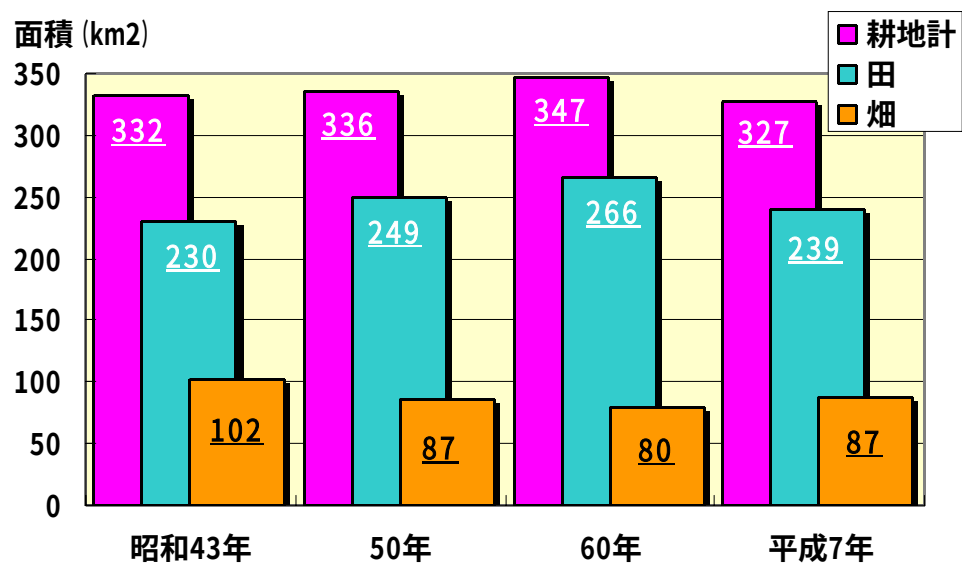


図3-1 米代川流域の耕地面積の推移

資料：建設省東北地方建設局「河川現況調査」

3-2 人口の推移

米代川流域は、能代市、大館市、鹿角市の他11町1村で構成され、平成7年の行政区域内人口は約273千人である。また14歳以下の年少人口は約40千人、15歳から64歳までの生産年齢人口が約173千人、65歳以上の老年人口が約60千人となっている。また、米代川流域の市町村（秋田県分）における人口の推移は減少傾向にある。

表3-2 流域市町村人口及び年齢3区分人口一覧表（平成7年）

流域内市町村名	総人口（人）	年齢3区分人口（人）			年齢3区分人口構成（％）		
		年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口
能代市	55,009	8,186	35,726	11,097	14.9	64.9	20.2
大館市	67,214	10,047	43,908	13,259	14.9	65.3	19.7
鹿角市	41,184	6,453	25,546	9,185	15.7	62.0	22.3
小坂町	7,703	1,014	4,814	1,875	13.2	62.5	24.3
鷹巣町	23,034	3,429	14,680	4,925	14.9	63.7	21.4
比内町	12,713	2,077	7,781	2,855	16.3	61.2	22.5
森吉町	8,359	1,142	5,015	2,202	13.7	60.0	26.3
阿仁町	4,855	597	2,737	1,521	12.3	56.4	31.3
田代町	8,304	1,229	5,153	1,922	14.8	62.1	23.1
谷川町	8,546	1,102	5,395	2,049	12.9	63.1	24.0
上小阿仁村	3,553	441	2,039	1,073	12.4	57.4	30.2
三ツ井町	12,807	1,786	7,858	3,163	13.9	61.4	24.7
藤里町	5,024	619	3,062	1,343	12.3	60.9	26.7
秋田県内計	258,305	38,122	163,714	56,469	14.8	63.4	21.9
安代町	6,866	1,013	4,105	1,748	14.8	59.8	25.5
岩手県内計	6,866	1,013	4,105	1,748	14.8	59.8	25.5
田子町	7,681	1,262	4,741	1,678	16.4	61.7	21.8
青森県内計	7,681	1,262	4,741	1,678	16.4	61.7	21.8
合計	272,852	40,397	172,560	59,895	14.8	63.2	22.0

資料：「平成7年度 国勢調査」

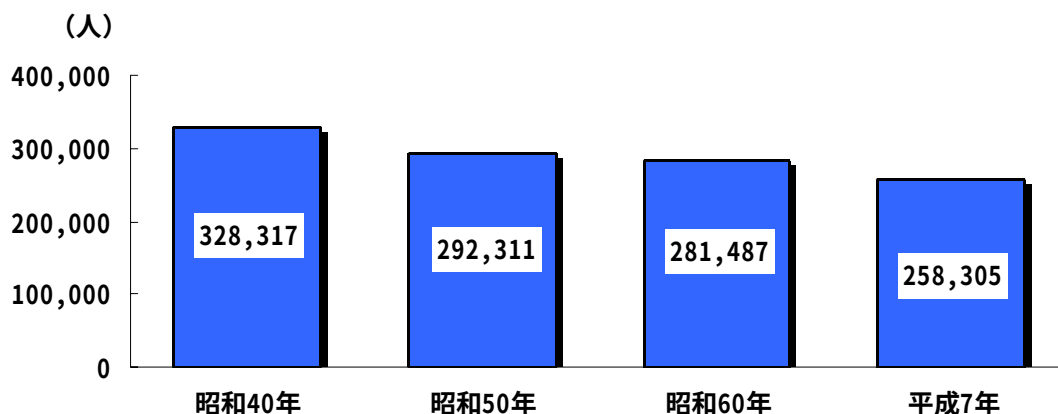


図3-2 米代川流域市町村人口の推移（秋田県分）

資料：「国勢調査」

3-3 産業と社会

米代川流域を構成する3市11町1村の純生産額は年々増加傾向にある。かつて地域の基幹産業であった1次産業の純生産額が減少し、3次産業の純生産額が増加している。

表3-3 流域市町村産業別純生産額一覧表（平成9年度）

流域内市町村名	純生産額 (百万円)	産業別純生産額構成比(%)		
		1次産業	2次産業	3次産業
能代市	167,014	3.0	20.2	76.8
大館市	176,880	2.5	24.8	72.6
鹿角市	89,864	6.9	29.5	63.6
小坂町	17,889	5.9	26.8	67.2
鷹巣町	59,227	5.0	35.3	59.7
比内町	18,913	9.6	35.6	54.8
森吉町	23,287	7.4	41.5	51.1
阿仁町	8,478	6.8	35.1	58.1
田代町	17,564	7.3	49.2	43.5
合川町	15,370	8.2	43.6	48.2
上小阿仁村	7,750	13.1	39.2	47.7
二ツ井町	21,344	7.6	31.9	60.5
藤里町	9,699	9.0	40.8	50.2
秋田県内計	633,279	4.7	28.2	67.1
安代町	17,052	10.1	31.7	58.2
岩手県内計	17,052	10.1	31.7	58.2
田子町	14,293	26.1	21.9	52.0
青森県計	14,293	26.1	21.9	52.0
合計	664,624	5.3	28.1	66.6

資料：秋田県「秋田県の市町村民所得」

安代町資料、田子町資料

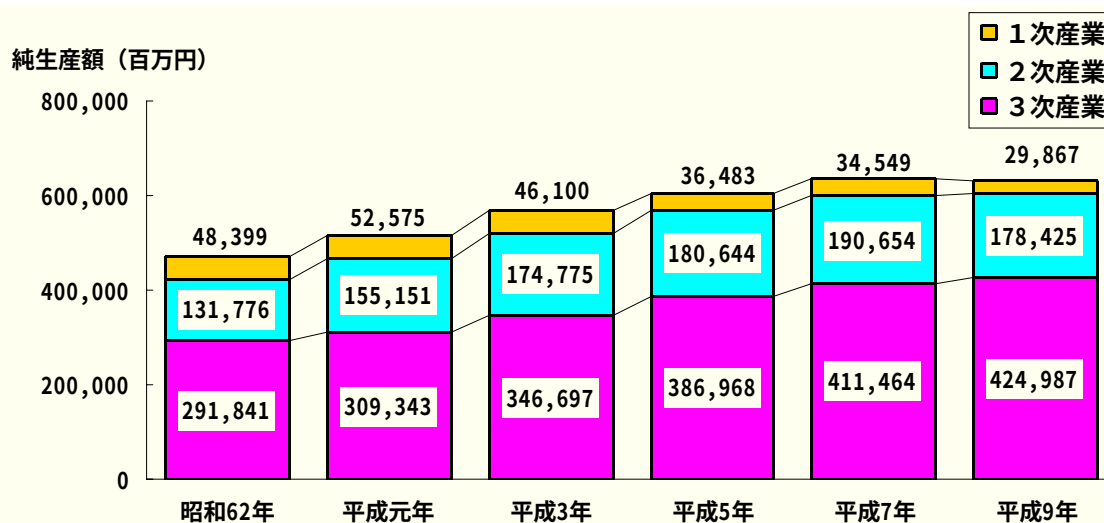


図3-3 流域市町村純生産額の推移（秋田県分）

資料：秋田県「秋田県の市町村民所得」

3-4 交通

米代川流域では、内陸の秋田杉や鉱石等を輸送する手段として、米代川を利用した舟運が、昭和初期まで重要な役割を果たしていた。

道路は、日本海沿岸部から内陸部につながる国道7号があり、内陸鹿角地方は東北縦貫自動車道が供用済みである。また、米代川流域を横断する日本海沿岸東北自動車道は現在一部区間で事業が進められている。鉄道では、日本海沿岸部と内陸部に通じる奥羽本線、内陸の大館市から岩手県盛岡市を結ぶ花輪線、河口の能代市より北につながる五能線、内陸の鷹巣町と県南の角館町を結ぶ秋田内陸縦貫鉄道が整備されている。また、平成9年に、盛岡市と秋田市間は秋田新幹線が整備され、秋田県と首都圏等とのアクセス性が向上した。

さらに、米代川流域の鷹巣町に大館能代空港が平成10年に開港し、関東や関西等を結ぶ新たな広域交通基盤が整備された。また、重要港である能代港が、平成13年に多目的国際ターミナルとして供用開始となった。

このように現在、秋田県及び米代川流域の高速交通体系が整いつつあり、これらが有機的に機能することで地域の社会経済がさらに発展することが期待される。

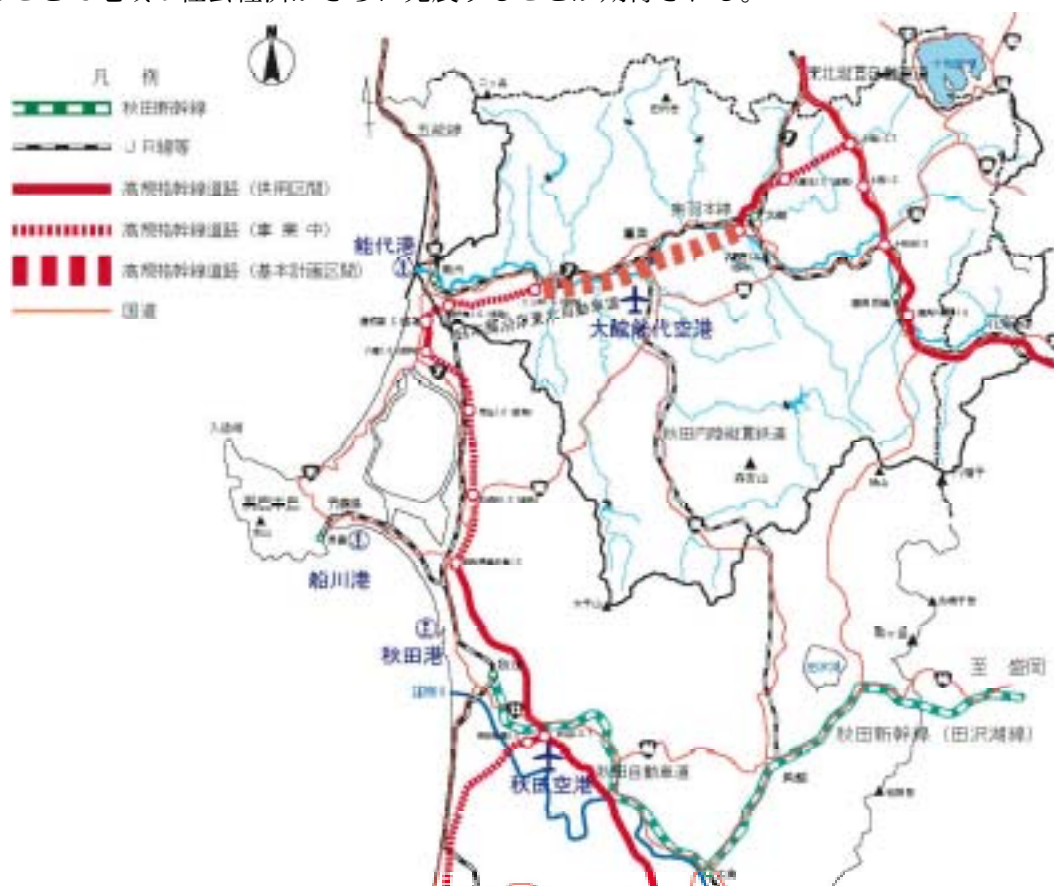


図3-4 主な交通網図

3-5 将来構想

秋田県内18市町村の米代川流域生活圏では、地域における創意工夫を生かし、地方の自立的成長と国土の均衡ある発展を目指し「地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律（地方拠点法）」に基づき、平成5年8月31日に地方拠点都市の地域指定が行われ、平成6年5月31日に基本計画が承認されている。